

登山の実施結果について(令和7年度実施分 令和7年4月～同年12月実施分)

参考資料1

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮白楊高等学校	春山登山	古賀志山(宇都宮市)	令和7年5月10日	1日(日帰り)	7名	3名 金鋪良昭 青山一也 佐久間利美	JR宇都宮駅(8:00)=森林公園駐車場(9:00)→北登山口入口(9:15)→細野峠(10:00)→三角山(11:15)→中尾根分岐(12:30)→富士見峠(13:00)→森林公園駐車場(14:25)=JR宇都宮駅(15:25)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	雨のちくもり 0cm	・生徒にとって久しぶりの登山であったため、ペース配分と体調をよく確認しながら取り組んだ。 ・転滑落注意の所は指導員との連携を図り通らせた。朝2時間程度は小雨が降っていたので濡れないように上下のレインウェアとザックカバーを装着し登山に臨んだ。	・雨天後で地面もぬかるんでいたため、下山の際生徒2.3名が足を滑らせ尻もちをついた。	・下山の際滑りやすい足場だったのと早く帰りたいという気持ちから焦りがあったと考えられる。	・足場が良くない場所はゆっくりみんなで声をかけながら歩くようから焦りがあったと考えられる。今後事前指導を改めて徹底する。	問題なし
2	真岡高等学校	合同登山山行	尺丈山(那珂川町)	令和7年4月26日	1日(日帰り)	10名	2名 小林巧 吉國耕史	大那地のお地藏さん(6:00)→登山道入り口(6:35)→496mピーク(8:35)→尺丈山ピーク(10:25)→大那地のお地藏さん(12:40)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・頭部保護のため、生徒は全員ヘルメットを着用することとした。 ・大田原高等学校との合同登山であることから、互いの意思疎通を図るため、事前のオンラインによる打ち合わせを行った。また、当日は名札を着用し、コミュニケーションがとれるようにした。	・斜面を降りている最中、しりもちをついた生徒がいた。	・斜面に枯葉が積もっていた。 ・下りの歩き方に不慣れであった。	・事前訓練の中で、登り・下りの特性に応じた歩き方を練習する。 ・地面の特性を把握し、歩き方に留意するよう、互いに声をかける。特に、先頭を歩く引率者は歩行の際に注意を要する箇所を生徒に伝達する。	問題なし
3	大田原高等学校	合同読図山行	尺丈山(那珂川町)	令和7年4月26日	1日(日帰り)	6名	2名 高梨和幸 小磯怜士	大那地のお地藏さん5:50集合、行動開始6:30→登山道入り口6:35→409ピーク7:45→496ピーク8:35→500ピーク9:10→尺丈山ピーク10:25(昼食)出発11:15→舗装道路終点11:50→大那地のお地藏さん12:40終了	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	おおむね晴れ 0cm	・山行にあたっては事前の合同準備に力を入れた。4/21(月)に大高と真高がZoomで読図学習会を行った。両校とも十分に予習しており、地形の特徴をよくつかんでいた。また、4/22(火)にはZoomによる合同の保護者ミーティングを行い、集合方法や山行の留意点等について説明を行った。滑落事故のリスクを少しでも減らせるよう、両校ともヘルメットを着用して山行に望むことなどを確認した。 ・山行当日は、大人も含めて全員がお互いに名前がわかるように胸に簡易的な名標をつけ、大高生と真高生が交じた5班を編成した。それぞれの班の間には引率者以外の他、アドバイザーや大高OB会・保護者(大高、真高)が入り、読図のサポート等を行った。事前の学習会の甲斐もあって生徒同士よくコミュニケーションを取りながら、積極的に読図に励んでいた。本来であれば杉林で見通しが利かない低山だが、伐採後のため遠くまで見渡せる景色と、暑くも寒くもない気温、良い天気で登山を堪能した。また、生徒はまた合同登山をやりたいというほど、いつもと違った角度での登山を満喫した。	・段差のあるところで滑り、尻もちをついた生徒がいた。	・藪漕ぎの中で、頭上、前方、足元、注意すべきところが多かった。	・(やっけてはいたが)大きな声で注意喚起の声掛けリレーを行う。	問題なし
4	大田原高等学校	春の幕営山行	ミツモチ、八海山神社(矢板市)	令和7年5月11日	1日(前日から幕営)	19名	2名 高梨和幸 小磯怜士	キャンプ場4:00、起床・朝食・テント撤収・ミーティング、登山行動開始6:30→車道出合7:00→ミツモチ9:10→見晴・青空分岐10:00→八海山神社10:25→見晴・青空(昼食)出発11:30→ミツモチ12:15→テント場14:05終了	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	おおむね晴れ 0cm	・1年生は今回の幕営ありの登山が初めての山行となった。1日目(5/10土)は雨の中レインウェアを来て県民の森内をオリエンテーリングし、10km以上を歩いたり、走ったりした。その後、同施設内にあるキャンプ場まで歩き、テント設営後、BBQ、ミーティングなどを行い、就寝した。翌日(5/11日)4時に起床し、様々な準備を行い6:30頃にミツモチに向かって出発した。1年生は初めての山行となるため度々止まっては読図を繰り返し、ミツモチ山域を出るまでは予定よりも40分近くの遅れが生じた。しかし、4月からの練習によって体力が相当ついており、登りのペースが早くほぼ予定時間で八海山神社へ到着した。下山に際しては、歩き方(下り方)や、下る途中で隊を止めて注意点を確認するなど、慎重に下山し、事故なく山行を終えた。 ・なお、初日のオリエンテーリングではレインウェアの内側にヤマビルが侵入し、ほぼ全員が吸いつかれた。就寝中やテント内に侵入されては困るので、OB会が急遽シーブリーズを用意した。それが功を奏したのかどうかかわからないが、その後ヤマビルの被害はなくなった。	・登りの途中、木の根に足を引っ掛け手をついた(転んだ)生徒がいた。	・読図の直後、隊列を変えて歩こうとして前を見ていたため、足元の木の根に気づいていなかった。	・常に注意を払う。	問題なし
5	宇都宮高等学校	令和7年度新入部員歓迎登山	中倉山・沢入山(日光市)	令和7年6月15日	1日(日帰り)	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 渡部裕次郎	宇高(6:45)→銅親水公園出発(8:25)→中倉山取付口(9:10)→尾根道取付点(10:10)→中倉山山頂(11:07)→孤高のブナ(11:10)→下山はトラバース道を利用。中倉山取付口(12:50)→銅親水公園到着(13:35)→宇高(14:35)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇りのち晴れ 0cm	・雨が降り止み気温が上がることが予想されたため、熱中症対策(水分補給のタイミング・塩分や糖分の摂取について・着衣の調節)について十分指導した。 ・前日から朝方までの雨の影響や熱中症予防への対策として、沢入山までは向かわず、孤高のブナからトラバース道で引き返すことにした。 ・急登ではペース配分に注意すること、スマールステップで大腿で歩かないこと、雨の影響で滑りやすい下り時にはスリッパや落石を起こさないことなどについて確認し、指導した。 ・現在位置の確認や鞍部手前の隠れピーク(地図上には現われないピーク)の発見など、山での読図の実際についても確認した。	特になし	特になし	特になし	問題なし

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)		特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)	具体的内容		背景要因	改善策	委員からの助言	
6	大田原高等学校	水無月縦走	七ヶ岳(福島県南会津町)	令和7年6月7日~6月8日	1泊2日	17名	2名 高梨和幸 小磯怜士	学校集合4:40・学校出発5:00=(バス)→キャンプ場8:00→分岐3(予定を変更して公道を歩いた)→分岐4 9:45→下岳10:45→三番岳11:30(昼食40分)出発12:10→分岐4 13:20→分岐3(予定を変更して公道を歩いた)→キャンプ場(その後幕営)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・1年生が2名欠席(百日咳、風邪)し、17名での実施となった。 ・集合時間に遅れる生徒が1名おり連絡もつかなかったため予定通りの時間でバスを出発させた。出発して20分後に本人から連絡があり寝坊とのことで、自宅にいたとのことだった。遅刻の生徒を塩原で合流させて登山にむかうことにした。 ・時間が1時間以上押したため、七ヶ岳に向かい、時間をみながら途中で下山することを全員で情報共有し、登山を開始した。七ヶ岳手前の三番岳で昼食をとり下山することにした。結果的には想定内の時間で無事に下山した。 ・翌日の高倉山では、下見の結果山頂付近が3m程度の低木が乱立しており、無理して登る場所ではないと判断し、町内の散策に切り替えた(予め地図に行程を書き込み、その通りに6km程度歩くという「読図」練習を実施)。	・大幅に遅刻する生徒がいた。 ・しりもちをついた生徒が数名いた。	・起きる時間を親任せにしていた。 ・また、朝イチの寝起き時(出発する前)にSNS等で天気、大気の安定度、発雷確率等の情報共有の他、起きていることなどの確認も方法の一つかもしれないと指導した。寝坊に関しては本人や保護者から謝罪があり、計画変更に関しては連絡や調整等、顧問や生徒が協力して対応できた。遅刻に関しては問題だが、その後とるべき態度や臨機応変に計画を変更する作業を学ぶという点ではよい経験になった。 ・しりもちをつくのは予想していたので、そのポイントを降りる前に全員集め、具体的な対策法を実演しながら情報共有した。	問題なし		
7	宇都宮高等学校	根名草山登山	根名草山(日光市)	令和7年7月12日	1日(日帰り)	10名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 大和田哲也	宇高(6:45)→金精峠登山口(8:45)→金精峠(9:11)→温泉ヶ岳分岐(10:05)→念仏平避難小屋(11:00)→根名草山(11:47)→避難小屋(12:47)→金精峠(14:25)→登山口(14:55)→宇高(16:45)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・夏場の登山であるため、熱中症対策(水分補給のタイミング・塩分や糖分の摂取について・着衣の調節)について十分指導した。 ・金精峠までの急登には鉄梯子やロープが設置してあるが、残置されたロープは強度が保証されていないため、体重など預けず、岩場やしっかりとした立木などを使いながら安全に登ることを確認した。 ・金精峠までの上りは崩落地の通過などを含む危険箇所があることから、全員ヘルメットを装着させた。 ・崩落地通過の際には、通過を終えた者の上からの落石を監視させるとともに、自らも落石を誘発させないよう慎重かつ迅速に通過するよう注意した。 ・トラバース道は狭く笹も生い茂っていて見通しも悪いことから、慎重に歩かせて谷側に滑落しないように注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし	
8	宇都宮高等学校	那須岳登山	那須岳(那須町)	令和7年7月26日	1日(日帰り)	14名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭 渡部裕次郎	学校(6:45)→峠ノ茶屋駐車場(8:45)→峰ノ茶屋跡(9:20)→朝日岳分岐(9:55)→朝日岳(10:10)→峰ノ茶屋跡(11:00)→牛ヶ首(11:20)→茶臼岳(12:25)→峰ノ茶屋跡(13:15)→峠ノ茶屋駐車場(13:50)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・那須岳は活火山であること、落石に注意すべき箇所もあることからヘルメットは常時着用させた。 ・剣が峰のトラバースは、他の登山者とのすれ違いや上部からの落石に注意しながら通過させた。 ・噴気孔付近では風向きに注意し、付近に停滞しないように注意を促した。 ・茶臼岳へのガレ場の上り下りは浮き石に注意し、落石を起こさないように注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし	
9	宇都宮高等学校	北岳夏山合宿	北岳(山梨県南アルプス市)	令和7年8月3日~5日	2泊3日	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	【1日目】学校(6:30)→バス移動→広河原(12:00)→広河原の指定キャンプ地で幕営(12:45) 【2日目】3時半起床、朝食準備、幕営地出発(5:30)→白根御池小屋(8:05~25)→小太郎尾根分岐(11:40)→北岳肩ノ小屋(12:20~13:25)幕営準備→北岳(14:00)→北岳肩ノ小屋(14:50) 【3日目】3時半起床。4時朝食準備。幕営地撤収(5:45)→白根御池(8:00)→広河原(10:20)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	1日目:晴れ一時雨 2日目:晴れ 3日目:雨のち晴れ 3日間とも 0cm	・気温が高く、熱中症が心配されたので、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意した。 ・上りは、1時間に10分のペースで小休止をこまめに取り、水分と塩分を補給させた。 ・草スベリ以降は急登と岩場の連続であり、ヘルメット着用を指示した。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにペース配分には注意した。 ・幕営地でのマナーの遵守を意識させ、他の登山者とのトラブルに発展しないよう指導した。 ・隊での行動なので、時間厳守が重要であること、自分勝手な個人行動が隊の安全にも影響することを確認した。	・引率責任者と生徒1名が軽い熱中症症状を呈し、草スベリの終盤で通常の行動継続が困難となったが、応急処置を行い、木陰で20分ほど休憩の後、2名の荷物を隊で分担するなどしてその後の行動が継続できた。 ・テントごとにガスバーナーとガス缶を持参したが、うち一つのガス缶が満タンではなく、途中で無くなってしまい、最終日の朝の炊事に支障を来した。	・引率責任者にはこれまでの経験により登山行動中に自らが熱中症を発症したことがないという過信や汗の量の過小評価から水分と塩分の摂取量が不足していたこと、生徒は荷物の軽量化やパッキング技術が不十分で、疲労が蓄積していたことが原因と考えられる。 ・共同装備確認時にガスの重量を計測しなかったことや予備を持参しなかったことが原因である。	・休憩時には確実に水分と塩分を摂取することの徹底と、熱中症対策の経口補水液、芍薬甘草湯などを各自でも持参させるなどする。 ・共同装備品の確認時に装備品の状況を確認すること、および予備のガス缶も持参することの確認を徹底する。	問題なし	
10	栃木女子高等学校	令和7年度三年生引退登山	社山(日光市)	令和7年7月20日	1日(日帰り)	19名	3名 小林武夫 池間明徳 増山明美	栃女6:00=借上バス=歌が浜駐車場7:50 →阿世湯 9:00→阿世湯峠 9:25→10:50 社山山頂11:20→阿世湯峠 12:30→阿世湯12:45→13:50歌が浜駐車場15:20=借上バス=栃女16:10	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ時々曇り 0cm	・気温が上昇する予報であり、熱中症を予防するためにも、出発前に十分水分をとるように指導した。 ・阿世湯峠からの登りでは、生徒がかなり汗をかいていたので、こまめに小休止をとり山頂を目指した。 ・下山の際には、足元を状況をよく見ながら慌てずに歩くように指示をした。	特になし	特になし	特になし	問題なし	

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)		特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)	具体的内容		背景要因	改善策	委員からの助言	
11	大田原高等学校	夏的那須岳ツアー(三本槍岳・朝日岳)	三本槍岳朝日岳(那須塩原市ほか)	令和7年7月12日	1日(日帰り)	10名	2名 高梨和幸 小磯怜士	駒止の滝北温泉駐車場6:00・登山行動開始6:30…林道出合7:25…スキー場分岐8:00…赤面山分岐9:10…北温泉分岐9:30…三本槍岳10:00…屋食(北温泉分岐付近)10:30…北温泉分岐付近出発10:50…北温泉分岐11:05…分岐11:40…朝日岳分岐11:45…朝日岳12:00…朝日岳分岐12:10…峰の茶屋12:40…峠の茶屋13:15 終了	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇り時々 晴れ 0cm	・山行前日の7/11(金)にミーティングを実施し、落石の危険がある場所では必ずヘルメットをつけることや緊急時のエスケープルートなど、さまざまなリスクに対して事前に示し合わせた。 ・当日の出発時には、不参加生徒の確認に時間を要し、予定より10分程度遅れての出発となった。また、強風により三本槍岳頂上で屋食が取りづらかったため、付近の広場で済ませた。 ・天候はおおむね曇りで、周辺が雲で覆われ、霧がかかったように視界がやや狭まる場面があったが、尾根に出たからは晴れ、景色を望むことができた。	・生徒がヘルメットを崖下に落としてしまった。 ・体温調節のためにヘルメットを外した際に、手から滑って転がってしまった。	・周囲の状況をよく確認し、ヘルメットを外すタイミングを見極める。	問題なし		
12	大田原高等学校	親子パラレル登山(磐梯山)	磐梯山(福島県猪苗代町)	令和7年8月16日	1日(日帰り)	16名	2名 高梨和幸 小磯怜士	学校集合4:30・学校出発4:40(バス)⇒猪苗代スキー場着6:50・出発7:15…リフト中継点出発8:00(体調不良者がでて約1時間の休憩で様子を見たものの継続は難しいと判断して下山を決定)出発8:55…スキー場入口着9:10…亀ヶ城公園10:00(バス)⇒11:15会津藩校日新館見学(会津若松市)12:40(バス)⇒学校着15:05・解散	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・予定通り出発したものの、開始早々で体調不良者がため、生徒隊、保護者隊とも早い下山となった。 ・実際にはスキー場内の道路を歩いただけなので登山にはなっていない。生徒が16名、それに引率者、OB会、遺族、保護者等も加わり総勢36名の参加となった。 ・早い下山となってしまったので、そこから十数キロ離れた会津若松市の会津藩校日新館を見学して帰ることになった。学校からは顧問の他、校長、教頭も加わり、リアルな活動の様子をみるようになっていたが、途中下山のリアルな姿になってしまったのが残念だが、計画に則った判断である。 ・帰りがけの見学で、部員たちとちょうど同年代の会津白虎隊の生きざまに触れ、何か思うものがあれば学びのある山行になったと期待したいところである。	①お腹が緩いと報告した生徒が2名いた。1名は学校出発前の報告で、報告があった時点で学校出発前に薬(正露丸等)を飲むように指示し、持参していた薬を飲んだ。もう1名は登山口に到着した時点で報告だった。 ②登山口に到着した時点でお腹のゆるみを報告した生徒が、行動開始後まもなく体調不良を訴えた。 ③衛星携帯電話の手配を忘れた。	①どちらも原因はわからないとのこと。 ②体調不良の原因はわからないとのこと。朝食はランチバックを一袋食べた。下山直後、トイレに行く様子もなかったため、お腹のゆるみと体調不良は関係ないと思われる。 ③インターハイの準備やお盆期間で8月に入ると事務作業が停止するため、7月中にほぼすべての準備を完了した。また、当初個人所有のスマホで衛星電波に接続できることから衛星携帯電話を持参しない計画を立てていたため、衛星携帯電話の手配を忘れてしまった。(スマホによる衛星電波の接続は文字による緊急連絡で、言葉による接続出ないと山行が許可できないということだったため、後ほど衛星携帯電話を携行する計画に変更した経緯があった)	問題なし		
13	宇都宮高等学校	令和7年度白根山登山	白根山(日光市、群馬県片品村)	令和7年9月20日	1日(日帰り)	6名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 大和田哲也 渡部裕次郎	学校(6:55)…菅沼登山口(8:55)…弥陀ヶ池(10:30～45)…五色沼(11:07～15)…弥陀ヶ池(11:37)…菅沼登山口(12:50～13:30)…学校(15:15)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇り時々 雨 0cm	・雨が予想されたので、雨具を着用して登り始めるように指導した。 ・樹林帯では雨がなく、急登で暑くなってきたので着衣の調整を促し、脱いだ雨具は直ぐ取り出せるよう指導した。 ・弥陀ヶ池では小雨と強風のため近くの樹林帯に入って休止し、低体温症の予防にも配慮した。 ・強風と濃霧のため山頂北東斜面の岩場から稜線の通過は危険と判断して登頂を断念し、計画を短縮して実施した。 ・濡れた木の根や岩石は滑りやすいので、足の置き場所や足裏全体で摩擦を利かせながら下ることに注意を促した。 ・下りは隊列が離れやすいので、先頭がペース配分に十分注意して下山するように配慮した。	登山靴を家に置き忘れた生徒があり、父親に日光宇都宮道路に入る手前まで届けてもらった。	車で学校まで送迎してもらう際に、持参したまま学校まで来てしまった。	なくては行動が不可となるような重要装備品はチェックリストでの確認を徹底させる。	問題なし	
14	宇都宮高等学校	会津駒ヶ岳合宿	会津駒ヶ岳(福島県檜枝岐村)	令和7年10月11日～12日	1泊2日	7名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 大和田哲也 富永孝昭	11日(土)学校(7:00)…泉キャンプ場(10:10)…幕営完了(11:00)…夕食(15:30～16:50)…消灯(20:00) 12日(日)起床(4:00)…朝食準備(4:45)…行動開始(6:15)…駒ヶ岳滝沢口(6:25)…林道終点(6:57)…水場ベンチ(8:00)…駒ノ小屋(9:30)…山頂(9:50～10:00)…駒ノ小屋(10:20～30)…水場(11:22～32)…林道終点(12:24)…泉キャンプ場(12:55)…撤収完了(13:30)…入浴(13:35～14:15)…学校(17:20)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	1日目:雨 2日目:晴れ 0cm	・幕営時は雨天が予想され、雨具を着て手早くテント設営を行うこと。 ・雨で気温が低いため、キャンプ地での服装に留意し、風邪など引かないよう着衣を調整すること。 ・食事の際には可能な限り洗い物を少なくする工夫やゴミを出さない工夫が必要であること。 ・前日の雨により登山道が滑りやすく、濡れた木道や木の根、岩場には特に注意し、靴底全体の摩擦を利かせること。 ・行動時には晴れて気温も高くなったため、着衣の調整や汗の処理、水分・塩分・糖分補給に留意すること。	特になし	特になし	特になし	問題なし	
15	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	大小山(足利市)	令和7年9月23日	1日(日帰り)	4名	2名 金鋪良昭 佐久間利美	JR富田駅集合(8:00)⇒養老の碑(8:50)…阿夫利神社(9:00)…妙義山(10:15)…大小山(10:45)…見晴台(10:45～11:00)…稜線ピーク(11:15)…大沼田分岐(11:25)…電波塔(12:00)…県道(12:15)…JR富田駅(12:30)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・事前打ち合わせにおいて指導員の佐久間氏から、地図上でのコース説明及び危険箇所の確認を入念に行った。特に岩場が多く、岩場での登り方や下山の仕方など詳しくチェックした。	・運動靴で参加した1年生男子が、下山中に砂利で足を取られ尻もちをついた。右膝に擦り傷を負ったが大事には至らなかった。	・下山し始めていたこともあり、気の緩みや運動靴だったため滑りやすい状態であった。 ・下山する際、歩幅を小さくして歩く工夫や今後登山靴の購入することを勧めた。	必ず登山靴を使用すること		

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天気(上段)		特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)	具体的内容		背景要因	改善策	委員からの助言	
16	大田原高等学校	ちよつと早い紅葉狩り(南月山・姥ヶ平)	南月山、白笹山、姥ヶ平(那須町)	令和7年9月13日	1日(日帰り)	14名	3名 高梨和幸 小磯怜士 渡邊和樹	沼ッ原湿原駐車場集合・白笹山登山口 出発5:35…白笹山7:15…南月山8:05 着・8:25発…牛ヶ首9:05…姥ヶ平9:25 着・9:55発…日の出平登山口10:40… 沼ッ原湿原駐車場11:10…ミーティング後 解散12:00	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	雨 0cm	・天気予報では13日も予備日の14日も雨の予報だった。1年生は雨天での登山の経験がないため、気温、風、天気図の様子、また、雷予報なし、天気が大きく変化するデータもないことから、雨の中の山行を行うことにし、生徒・保護者とも共有した。 ・終日雨だったため、姥ヶ平で予定していた昼食は、下山してからとすることに。これは生徒が状況を鑑みて提案してきたことで、アドバイザーとも相談して昼食は下山してからとるようにプランを一部変更した。	特になし	特になし	特になし	問題なし	
17	宇都宮白楊高等学校	秋山登山	太平山、晃石山(栃木市)	令和7年10月25日	1日(日帰り)	5名	2名 青山一也 佐久間利美	JR岩舟駅集合(8:00)…神社(8:20)…馬 不入山(9:20)…桜峠(9:55)…晃石山 (10:35…11:00)…ぐみの木峠(11:40)… 大平山(12:05)…大平神社(12:25)…謙 信平(12:45)…客人神社(13:15)…JR大 平下駅(13:35)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り 0cm	・事前打ち合わせにおいて指導員の佐久間氏から、地図上でのコース説明及び危険箇所の確認を入念に行った。また、当日の天候やクマ情報に注意しながら準備を進めた。	・当日の天候は曇りで足元が滑りやすい状況にあったが、特に転倒もなく下山することができた。 ・当初は8名の参加予定だったが、感染症等の流行により5名のみ参加となった。	特になし	・感染症対策を行いながら健康管理を徹底すること。	(今後、登山計画審査会で報告)	
18	宇都宮高等学校	令和7年度岩山安全登山講習	岩山(鹿沼市)	令和7年11月1日	1日(日帰り)	5名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	宇高(7:30)―鹿沼駅(7:51)…鹿沼西中 入口(8:19)…日吉神社登山口(8:30～ 9:00)…第一ベンチまでの岩の斜面で講 習(9:15～11:00)…一番(山頂)(12:00)… 山頂で大休止(12:20～12:45)…下山口 (13:30)…鹿沼駅(15:00)…鶴田駅 (15:55)…宇高(16:05)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・前日の雨で濡れた岩場や落葉は滑りやすいので、足の置き場に注意させるなど慎重に歩行させた。 ・岩場が多い山域のため、行動時は常時ヘルメットを着用させた。 ・簡易チェストハーネスの結び方、ダブルフィッシャーマンズノットの結び方が正しいか確認して講習を開始した。 ・8の字結びやクローブヒッチについても確認し、支点通過時の注意やギアの回収の仕方を体験した。 ・自己確保の重要性や基本的なロープシステムについて、講師に丁寧に説明してもらった。 ・岩場の通過時は三点支持を徹底させるとともに、慎重に行動するように注意した。 ・下山はエスケープルートを選択し、1番タルミからゴルフ場方面へ下って下山した。	特になし	特になし	特になし	(今後、登山計画審査会で報告)	
19	栃木女子高等学校	令和7年度秋山登山	筑波山(茨城県つくば市)	令和7年12月6日	1日(日帰り)	8名	3名 小林武夫 池間明德 増山明美	栃女(7:00)＝借上バス＝薬王院駐車場 (8:30)…男体山御本殿(11:20)…女体 山御本殿(12:00)…つつじヶ丘駅 (13:20)…ケーブルカー登山口(14:30)… 筑波山駐車場(15:00)＝借上バス＝栃 女(16:20)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れのち曇り 0cm	・気温が低く出発前までは寒さ対策を十分させ、出発直前に少し寒い程度の服装に整えさせた。 ・約1時間程度に1回5～10分の小休をとりながら行動した。 ・下山の際には、靴紐をしっかりと結ぶように指示をした。	特になし	特になし	特になし	(今後、登山計画審査会で報告)	
20	大田原高等学校	関東平野を望む(御亭山)	御亭山(大田原市)	令和7年12月14日	1日(日帰り)	12名	3名 高梨和幸 小磯怜士 豊住隆行	黒羽小学校付近集合(7:30)・出発 (7:50)…愛宕山(8:10)…飯綱山(8:30) …岡沢ポッチ(9:00)…御亭山山頂到着 (10:00)・食事後解散(11:00)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	雨 0cm	・しばらく晴天が続いていたものの、山行当日のみ雨または雪となり、気温も低下する予報であった。そのため前日までに、雨の場合・雪の場合・山頂付近で天候が悪化した場合など、複数の想定を行い、それぞれの対応策をあらかじめ周知していた。 ・当日朝、顧問・副顧問が車で山頂付近まで向かったところ、現地では激しい雨となっていた。雪ではなかったため、事前に示していた判断基準に基づき、予定通りの計画で実施することを決定し、7時20分に生徒・保護者・関係者全員へ周知した。 ・出発時は雨が降っていたが、樹林帯に入ると雨の影響は次第に少なくなり、山頂付近に到着する頃には雨は止んだ。山頂付近では建物の軒下をお借りし、保護者の方々よりけんちん汁の提供を受け、体を温めることができた。	・登山の途中、大便をしたいと申し出る生徒が出たため、パーティを約10分間休憩とした。当該生徒はパーティから離れた木陰で処理を行い、その間、熊の出没が確認されていない山域ではあったが、安全確保のため、生徒の声が届く範囲に顧問が待機した。	特になし	特になし	(今後、登山計画審査会で報告)	

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			中止理由
									人数	資格	要件	
1	栃木女子高等学校	令和7年度3年生引退登山	鳴虫山(日光市)	令和7年5月4日	1日(日帰り)	20名	4名 小林 武夫 池間 明德 竹前 睦 増山 明美		1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	1号	顧問都合のため
2	大田原高等学校	秋の高原山山行(釈迦ヶ岳)	釈迦ヶ岳(矢板市)	令和7年11月16日	1日(日帰り)	13名	2名 高梨和幸 小磯怜士		1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	1号	山行前に登山口付近で熊が目撃されたため